

# 決算特別委員会を開催

## 令和6年度の事務事業を慎重に審査

議会は、令和6年度一般会計ほか6特別・3企業会計の決算等を審査するため、10月1日・2日・7日・8日・14日の5日間にわたりて決算特別委員会を開催しました。

貢上げによる個人消費の拡大もあり、景気が緩やかに回復していることから税収の増加が期待される一方、金利上昇の影響や物価高騰等による経費の増加に加え、社会保障関連経費の増加や大規模な投資的事業等による大きな財政負担が見込まれ、長期財政収支の悪化が想定されます。改めて、徹底して収支均衡及び長期財政需要を意識し、将来にわたって健全な財政運営を維持していくことが不可欠であることから、同委員会において、各事務事業に対して熱心に質疑が行われました。

### 決算特別委員会委員

【委員長】 東一藤志岡泉大野三広松前  
【副委員長】 原田甫市津村和瀬本田生真  
【委員】 池幸直栄大真生智ひつじ  
【委員】 佐富晶久哉郎介枝子  
【会派届出順】 実名子美久哉郎介枝子

区分		歳入	歳出	翌歳財源	※1 実質収支	前年度実質収支	※2 単年度収支
一般会計	167,040,111	164,593,615	507,750	1,938,746	2,311,605	▲372,859	
	国民健康保険	38,077,792	37,957,993	0	119,799	31,396	88,403
	自動車駐車場	97,830	60,135	0	37,695	▲13,984	51,679
	財産区	41,778	41,778	0	0	0	0
	介護保険	38,722,051	37,851,137	0	870,914	898,968	▲28,054
特別会計	後期高齢者医療	8,985,856	8,891,708	0	94,148	391,425	▲297,277
	母子父子寡婦福祉金貸付金	65,846	26,016	0	39,830	40,819	▲989
区分		収益的収入	収益的支出	※3 純利益	前年度純利益		
企業会計		6,332,130	5,119,137	1,212,993	1,498,488		
水道事業		10,451,790	11,342,513	▲890,723	▲243,967		
下水道事業		12,208,973	10,710,005	1,498,968	1,504,542		

※1 実質収支は、歳入から歳出と翌年度繰越財源を引いたものです。

※2 前年度収支は、実質収支から前年度実質収支を引いたものです。

※3 純利益は、収益的収入から収益的支出を引いたものです。

（単位：千円）

収支が2年連続赤字の厳しい状況だが、歳入歳出の増減面からの要因を開く。

課長 岁入面は市税や

課長 一般会計の単年度

課長 収支が2年連続赤字の厳しい状況だが、歳入歳出の増減面からの要因を開く。

課長 岁入面は市税や